

講座だより



【第5回講師 関根健吾氏】

令和3年10月9日（土）に森林環境教育指導者養成講座の『養成コース第5回』を実施しました。これまで新型コロナウイルス感染症対策のため、オンラインでの実施としていましたが、ようやく現地で集合して実施できるようになりました。講師は山梨県にある公益財団法人キープ協会の関根健吾氏をお招きし、「森林環境教育プログラム実践」をテーマにプログラムの企画、実施、振り返りを行いました。和やかな雰囲気の中、対面での受講を楽しみながら学ぶ1日となりました。

【午前】森林環境教育プログラムの企画

最初に講師からプログラムの企画をするための流れについて説明がありました。その後、近くの森林公園に移動し、実際に森林の中でグループ実習を行いました。講師から土、木、生きもの等の自然素材のテーマが各グループに与えられ、そのテーマに沿ってプログラムの内容を企画してもらいました。テーマが決まっても、自然素材を目の前にすると色々なアイデアが浮かびます。受講者はグループのメンバーと沢山のアイデアの中から、ストーリーやメッセージを考えながら一生懸命にプログラムの構成をまとめていました。



【グループ実習の様子】

【午後】森林環境教育プログラムの実施・振り返り

【実習の発表の様子】



午後は、いよいよプログラムの実践です。受講者を子どもたちに見立て、順番に企画したプログラムの実施しました。落ち葉を積み上げるゲームや、クモの巣を観察する体験など様々なプログラムが考えられていました。また体験後は「良かった点」や「こうするともっと良くなる点」について、互いにフィードバックを行いました。企画だけでは気づけなかったことが、実際に実施してみることで分かることもありました。講師からは今回のように実施する側と受ける側をたくさん体験することで、指導者としてスキルも高くなることが語られました。

<発行元>